山口情報芸術センター [YCAM] レクチャーシリーズ

これからの「食べる」 について考えるレクチャーシリーズ <u>「アグリ・バイオ・キッチン―『食べる』のリテラシー</u>」

2015年9月19日(土)、9月26日(土)、12月26日(土) [全3回] 山口情報芸術センター [YCAM] スタジオAほか

山口から「生きる」と「暮らす」考える— 世界の動向と地域の活動から、未来の食のあり方を考察するレクチャーシリーズが始動

山口情報芸術センター [YCAM] では「アグリ(農業)」「バイオ(生物/生命)」「キッチン(台所/料理)」の3つのテーマから未来の食のあり方に対して考察を深めるべく、専門家を招いてのレクチャーシリーズ、「アグリ・バイオ・キッチンー『食べる』のリテラシー」を開催します。

近年、メディアテクノロジーの発展と普及が一層進み、私たちの暮らしと切り離せない存在となりつつ あります。生活の根本である「食べる」ことについても、大きな変化の波が押し寄せています。

YCAMでは、メディアテクノロジーの応用範囲を、生活のより根源的なレイヤーまで拡大し、新しい生き方や暮らし方の提案をおこなうプロジェクトをスタートします。2015年度は人間の生活に不可欠な「衣・食・住」の三要素のうち、「食」にフォーカスをあて、バイオテクノロジーの専門家や地元農家らとおこなうフィールドワークやワークショップ、市民参加型のオープンな勉強会などを通じ、近年注目度が高まっている食分野におけるメディアテクノロジーの応用可能性を探ります。

ぜひ、この機会にご参加ください。



2014年に開催したワークショップ「イマジナリー・キッチン」の様子(上) 今年5月に開催した「アグリ・バイオ・キッチン」のキックオフイベントの様子(下)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7 http://www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



いま、「食べる」が変わる一新しい暮らしのあり方を追求するプロジェクトがスタート!

「アグリ・バイオ・キッチン」レクチャーシリーズは、全3回にわたり開催します。各回、一般向けのレクチャーと、専門家やその分野で活動している市民を対象としたワークショップを2日間に分けておこないます。

1日目:一般向けレクチャー

各テーマにおける最新の動向や講師による見解を共有したり、 YCAMの今後の活動の広がりや、今秋YCAMに新しく新設する バイオラボの存在について共有する目的で開催します。

2日目:コア層向けワークショップ

1日目と同じ講師による実践的なアクティビティを通して、思考 や方法論を共有するワークショップを開催します。参加者と長 期的な関わりを維持しながら、彼ら自身が吸収したノウハウを 地域に還元していくことも目標としており、将来的には参加者 が主宰するワークショップの開催なども可能と考えています。

バイオラボ設置について

医療や食料品など人々の生活に密接に関わるバイオテクノロ ジーは、ここ数年で一般の人々の手に届く身近な技術となりま した。大学や企業の研究者だけではなく、一般の人々が生活の中 でバイオ技術を必要とし活用・応用することで、新しいアイデア による様々な可能性が生まれるといえます。このような流れを 受け、現在世界に約50ヶ所以上、一般の方々が利用できるバイ オラボというスペースが出来ています。YCAMでも今秋バイオ ラボを設置し、実験的に運用を開始する予定です。設置するバイ オ機材の例として、作業環境を無菌に保つ装置であるクリーン ベンチや、DNAを増幅させるPCR装置などがあります。クリー ンベンチを利用することで、より精度の高い実験をおこなうこ とができたり、PCRによって微量な遺伝子の増幅をおこなうこ とや、特定の遺伝子の存在を調べたりすることができます。「ア グリ・バイオ・キッチン」のレクチャーシリーズを皮切りに、メ ディアテクノロジーのみならずバイオテクノロジーと「衣・食・ 住」を引き寄せ、市民が新しい暮らしのあり方を追求する中で、 このような技術を応用できる機会を提案していきます。



YCAMメディア・キッチン vol.1 「フードデザイナーの視点ー アルゴリズム・クッキング」(2010)

イベント詳細

Vol. 1「アグリ」

農業xメディアテクノロジー/自分でつくる農具

3Dプリンターやレーザーカッターといったデジタル工作機械などを活用して、地域や自分にとって必要なものを自分たちでこしらえる営みのことを、ソーシャル・ファブリケーションと呼びます。当レクチャーでは、世界各地の農業の現場で実践されているソーシャル・ファブリケーションの実践例やアイデアを紹介しします。農家もそうでない方も、自宅の庭やベランダ、通勤通学の道中やYCAMの中など様々な場所を想定しながら、作ってみたい畑、あったらいいなと思う農具などについてアイデアを共有します。

講師:津田和俊(大阪大学、ファブラボ北加賀屋)

日時:9月19日(土)14:00-16:00

会場:山口情報芸術センター[YCAM]スタジオA(Yamaguchi

Mini Maker Faire内)

定員:40名 ※申込不要

■ 津田和俊/大阪大学・ファブラボ北加賀屋



これからの暮らしかたや生きのびるための智恵に関心があり、特にものの流れや循環に着目しながら、自然環境と人との関係性について考察している。2011年から大阪大学創造工学センター助教として、工学設計や適正技術の教育プログラムの実施や、資源循環やサステナブルデザインに関する研究を行っている。2010年から「つくりかたの未来」を考えるファブラボのネットワークに参加し、2013年にその拠点の一つとしてファブラボ北加賀屋(大阪市住之江区)を共同設立。2014年から、YCAMコラボレーター。共著に『FABに何が可能か「つくりながら生きる」21世紀の野生の思考』など

Vol. 2 「バイオ」

情報としての食/台所でもできるキッチンバイオ

近年、注目を集めるバイオテクノロジーと食の関係性をひもときます。当レクチャーでは、無菌操作のための装置「クリーンベンチ」をプラスチックケースで作る方法や、様々な植物試料で使用する培地の作成、無菌環境で植物試料を扱う方法など、様々なDIYバイオの方法を伝授します。さらに、遺伝子の転写やタンパク合成に関する秘密、生物もしくは生命的なものを構成するシステム、合成生物学や人工生命の観念などについても、実験ショー形式で楽しみながら学びます。

講師:BCL(ゲオアグ・トレメル、福原志保、吉岡裕記、フィリップ・ボーイング)

日時:9月26日(土)14:00-16:00

会場:山口情報芸術センター[YCAM]スタジオA

定員:40名

■ BCL (ゲオアグ・トレメル、福原志保、吉岡裕記、フィリップ・ボーイング)



BCLは、科学や芸術、デザインなど様々な領域を越えコラボレーションを行うアーティスト集団。2004年にゲオアグ・トレメルと福原志保によってイギリスにて発足、2007年には活動拠点を東京に移し、国内外のミュージアムやギャラリーで展示やコラボレーションを行う。2014年に吉岡裕記、2015年にフィリップ・ボーイングが加入。特に、バイオテクノロジー(生物工学)の発展が社会に与える可能性に焦点を当て、彼らの鋭い視点により、閉ざされたテクノロジーが人々に開かれていくことをミッションとしている。http://bcl.io/

開催概要

これからの「食べる」 について考えるレクチャーシリーズ 「アグリ・バイオ・キッチン― 『食べる』 のリテラシー」

Vol.1「アグリ」

農業×メディアテクノロジー/自分でつくる農具

2015年9月19日(土)14:00-16:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

講師:津田和俊(大阪大学、ファブラボ北加賀屋)

入場無料 ※申込み不要

Vol.2「バイオ」

情報としての食/台所でもできるキッチンバイオ

2015年9月26日(土)14:00-16:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

講師:BCL (ゲオアグ・トレメル、福原志保、吉岡裕記、フィリッ

プ・ボーイング)

入場無料 ※要申込み

主催:山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援:山口市教育委員会

助成: 平成27年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

企画制作:山口情報芸術センター [YCAM]

■申込み方法

受付開始日:8月12日(水)

下記項目を明記の上、メールまたは YCAM1階事務所にてお申込みください。

- ・参加を希望するイベント名
- 住所
- ・氏名(ふりがな)
- ・性別
- ・生年月日
- ・メールアドレス

メールアドレス: reserve@ycam.jp

今後のスケジュール

「アグリ・バイオ・キッチン―『食べる』のリテラシー」

2015年12月26日(土)14:00-16:00

Vol.3「キッチン」

科学反応としての料理/科学で料理がうまくなる!?

料理の味はさまざまな化学反応によって決定されます。その原理を知ることで、自分で作る料理はより美味しくなり、他の人が作った料理を深く楽しむことが可能になります。レクチャーを通じて、私たちが普段何気なく行っている「料理」に対する観念が大きく変わるかもしれません。

講師: ジェフ・ポッター (『Cooking for Geeks』著者)

日時:12月26日(土)14:00-16:00

会場: FRANK (〒753-0047 山口市道場門前2-4-19 2階)

定員:30名

※詳細については、10月以降にお知らせします。